

# 中国における国民像の歴史的変遷

## —小学校 5 年生の国語教科書の分析を通じて—

GE Mingyue

教科書は、単なる教材としての役割を超え、国民の価値観やアイデンティティの形成において重要な役割を果たしている。国語教科書は、単に言語教育を担うだけでなく、各時代の社会的・文化的価値観を反映し、国民意識の育成に寄与する媒体としても機能している。

本論文では、教育改革や社会的変化を背景に、中華人民共和国の成立から現在までの期間を以下の 3 期に区分し、それぞれについて分析を行う。第 1 期は中華人民共和国の成立から文化大革命の終結まで(1949 年～1976 年)、第 2 期は文化大革命終結後から 20 世紀末まで(1977 年～2000 年)、第 3 期は 21 世紀以降(2001 年～現在)である。分析対象には、中華人民共和国成立以降に人民教育出版社が発行した 7 版の教科書と、それに関連する教学大綱を取り上げ、KH-Coder を用いて分析を行う。具体的には、各時代の教学大綱から頻出語を抽出し、それぞれの教育方針とその背景を分析する。さらに、教科書の特徴語、共起ネットワーク、対応分析、「人」に関連する語の使用、クロス集計、およびバブルプロットを通じて各時代の教科書に描かれる国民像を明らかにする。本研究の目的は、中国における各時代の国語教科書に描かれる理想的な国民像の変遷を明らかにし、それに反映される中国社会の特質を解明することである。

第 1 期の時代背景では、中国は長年にわたる戦争を経て、国外からの侵略や国内の圧迫を克服し、社会主義国家の建設を開始した。識字率の向上が重視されるとともに、愛国主義や社会主義、さらにはマルクス主義思想の教育が強調された。第 1 期の教科書の特徴としては、以下の 3 点である。第一に、政治的色彩の濃厚さと思想教育・政治教育の重視である。国家の正統性や社会的目標が強調され、思想教育と政治教育が中心となっていた。第二に、革命精神の継承と烈士の功績の顕彰である。革命運動の英雄や烈士を称賛し、その精神を次世代に引き継ぐことを目指していた。第三に、国家指導者の賛美と模範的役割の強調である。指導者を理想的な人物像として描き、生徒に社会的規範や期待に沿った行動を促していた。これらを踏まえると、第 1 期の教科書が描く理想的な国民像は、革命反抗精神を持つ愛国愛党の忠君愛国の国民像である。

第 2 期の時代背景では、改革開放政策の開始に伴い、教育が国家の重点課題として位置づけられた。教育の質の向上と普及が急務とされ、科学技術や実用的知識の重要性が強調される一方、

生徒の全面的な成長が教育の目的として掲げられた。第 2 期の教科書の特徴としては、以下の 3 点である。第一に、愛国主義・集団主義・社会主義の継続的な重視である。これらは教育の中核的価値観として引き続き位置づけられていた。第二に、祖国への自然賛美と環境意識の育成である。社会主義国家建設の過程で、持続可能な発展と自然環境の保全が重視され、環境保護や自然との共生の意識を涵養することが目指されていた。第三に、儒家思想の尊重と人間関係の重視である。伝統的な倫理観を教育に取り入れることで、個人の道徳的成長と社会的調和を図ることが意図されていた。これらを踏まえると、第 2 期の教科書が描く理想的な国民像は、家国一体感を持つ勤勉な国民像である。

第 3 期の時代背景では、国際競争の激化と国際交流の深化に伴い、教育が国民の素養を向上させる役割として一層重視されるようになった。伝統文化や愛国心の強調を継続しつつ、国際理解や多元的価値観が重視され、伝統と現代の融合が進められた。第 3 期の教科書の特徴としては、以下の 4 点である。第一に、愛国精神と儒家思想の再強調である。儒家思想に基づき、忠孝や礼節の教育が重視され、国家への献身や家庭内での調和が奨励されている。第二に、人間と自然の関係の新たな道徳的視点である。環境保護や自然との共生の理念を道徳教育に取り入れ、持続可能な発展を見据えた教育が進められている。第三に、道徳教育と健全な人格形成の重視である。公共心や他者への思いやりを育む内容が充実し、生徒の健全な人格形成を目指している。第四に、伝統文化の再評価と活用である。生徒に中国文化への理解を深めさせると同時に、グローバルな視点を持ちながら、自国文化のアイデンティティを涵養する教育が行われている。これらを踏まえると、第 3 期の教科書が描く理想的な国民像は、伝統文化の継承に熱心で多様な価値観を持つ成熟した国民像である。

今後の中国の国語教育は、教育内容の充実と多様化、授業方法の改革、愛国教育の見直し、国民像の再構築といった方向性に基づき、より柔軟で多様な価値観を尊重する国民を育成することが期待されている。これからの国語教科においては、現代社会のニーズや国民育成の視点を踏まえ、内容の見直しと充実が求められる。教育を通じて、未来を担う国民が持続可能で平和な社会の実現に貢献できる人材として成長することが期待されている。